

【休眠預金等活用事業 2023 年度通常枠の根活動支援事業】

若年就労困難者のための包括的就労支援事業～就労までの選択肢の拡充と就労定着に向けた仕組みづくり～

事業名	生きづらさを感じている若者向け幸せ多様性実現事業 (副) 重層的な制度に当てはまらない若者だれでも受け入れるサポート事業
団体名	特定非営利活動法人キャリアデザイン研究所
所在地	千葉県柏市
事業の概要	<p>東葛エリア（含む近隣エリア）で生きづらさを感じている若者に対して「リアル空間」及び「めたば～す4U」双方でコミュニティカフェを開催し、一步を踏み出せる環境を構築する。生きづらさを感じている若者には、今までのネガティブ体験や成育歴から精神的なダメージを受けている若者、社会と繋がることに不安を感じている若者、生活リズムが崩れている若者、対人不安を抱えている若者がいることを20年の取り組みから掴んでいる。そのような若者に対して、今まで取り組みが薄かった「生活リズムの整え」にスポットをあて、「めたば～す4U」でもスタッフと共に生活の基盤を整えながら、社会参加できる仕組みづくりを行う。具体的には生活管理シートを作成しその人にあった環境作りをゆっくりコーディネーターと共有し、心身の活力向上に務める。</p> <p>また今までの支援機関ではセミナーや相談員との面談で知識をインプットする機会は多くあったが、得た知識をアウトプットする機会があまりなかった。「リアル空間のコミュニティカフェ」では自分の経験をアウトプットできる環境づくりに努め、色々な経験を積むことにより、就労やフリーランスとして自立を目指す前に、不安軽減が期待できる。対象者は地域若者サポートステーション（千葉県8か所/当NPOは2か所運営）や連携支援機関、自治体など重層的支援に馴染まなかった若者及びハローワークからリファーされてきた若者のサポートを実施する。実施する主な内容は、①インテーク、②職業適性検査、③興味検査、④相談、⑤屋内トレーニング（事務作業トレーニング）、⑥屋外トレーニング（連携企業見学・企業実習）、⑦応募書類作成サポート。この事業を行うことにより、生きづらさを抱えた若者が地域社会に参加することに貢献する。</p>
事業期間	2024年4月～2027年2月28日
助成予定額	27,400,000円（直接事業費：22,195,200円／管理的経費：3,904,800円／評価関連経費：1,300,000円）
選定理由	<ul style="list-style-type: none"> ● これまでの就労支援の実績が評価されました。地理的限定のないメタバース空間や地域の居場所から、確実に就労支援につなげることを期待します。 ● メタバース空間の活用によってアプローチしづらい対象者の掘り起こしにつながるのではないかと期待の声がある一方で、メタバースに関心のない若者やITが苦手な若者への支援が不明確であるという意見がありました。 ● 選考委員から若者理解を深めてほしいという要望がありました。若年就労困難者が「メタバース空間や居場所につながって良かった」と思えるように、当事者や学生などの若者を中心とした体制にすることを望みます。 ● 若者が集まり交流し元気になれるようなメタバース空間や居場所を作るには、さらなる工夫が必要だという意見がありました。県内外のコミュニティカフェの視察や他団体の好事例を学び、事業設計（メタバース空間のクオリティ、利用者を増やす計画、コミュニティカフェの活用、エリア協議会のメンバー等）全体を見直すことを期待します。

※助成額は実行団体よりご提出いただきました事業計画書・資金計画書に基づき算定しています。

【休眠預金等活用事業 2023 年度通常枠の根活動支援事業】

若年就労困難者のための包括的就労支援事業～就労までの選択肢の拡充と就労定着に向けた仕組みづくり～

事業名	通信制高校で就労に困難を抱える生徒のための就労支援事業 (副) 不登校の生徒たちが社会で働き始めるための社会基盤を地域につくるプロジェクト
団体名	特定非営利活動法人キャリア base
所在地	千葉県柏市
事業の概要	<p>通信制高校を卒業する生徒約 3 人に 1 人にあたる 2.4 万人が毎年、進路未決定のまま卒業しています。その多くは社会的に孤立し、引きこもりや若年無業者になる予備軍と私たちは考えています。彼等の多くは不登校経験者であり、さらに発達障がいやヤングケアラー、若年妊娠など様々な課題を併せ持っているケースも少なくありません。</p> <p>不登校を中心にハードルを抱える通信制高校生の急増、そして変わらぬ高卒採用の慣習、この 2 つの問題が、結果として「進路未決定のままの卒業」を多く生み出してしまっています。千葉県東葛エリアからこの状況を変え、広げていくために、本事業を行います。私たちが行う活動は大きく 4 つです。</p> <p>①東葛エリアの不登校の生徒たちへの居場所創り、キャリア教育、個別就労支援 ②企業側への「ステップアップ採用枠」の啓蒙とネットワーク化 ③学校の先生と企業を繋ぎ、中長期的に子どもたちを見守り、育てる地域内連携体制の構築 ④高校生「ステップアップ採用」に対する「補助金制度」の創設に向けた活動</p> <p>高校生自身へのサポートも必要ですが、社会に出てからのフォロー体制が必要なことを考えると、重要なのは受け入れてくださる企業であり、企業側の理解とサポート体制がなければ、彼らが社会に徐々に慣れ、社会人として活躍していく未来の実現は難しいのです。そのため、私たちは企業への通信制高校生採用の啓蒙活動を積極的に行い、雇用のセーフティネットワークの構築を目指します。さらに、中小企業の経営者・人事と学校の先生を直接繋げ、お互いに密に情報交換をし、連携できる体制をとることで、企業にとっては採用する機会を増やし、学校側にとっては企業の経営者・人事と直接相談ができる関係性を構築します。最終的に、この活動を広げるには、東京都のソーシャルファーム認証制度のような、行政の後押しが欠かせません。制度創設に向けた提言活動を行っていきます。</p>
事業期間	2024 年 4 月～2027 年 2 月 28 日
助成予定額	30,981,844 円 (直接事業費：26,893,881 円／管理的経費：2,687,963 円／評価関連経費：1,400,000 円)
選定理由	<ul style="list-style-type: none"> ● 卒業後にセーフティネットを失う可能性の高い生徒を予防的に支援する活動であること、通信制高校の協力を得て支援活動を行っていること、代表者が地域の中小企業をよく知っていることが評価されました。 ● 一斉型授業と個別介入の両面からの支援に期待する声がある一方で、生徒との関りの度合いを疑問視する意見もありました。一斉型授業と個別介入以外の支援方法や、オンラインでなくリアルに生徒と接点を持ち関わり続けるための取り組みへのチャレンジも期待します。 ● すでに関わりのある高校だけでなく地域のサポート校へもアプローチし、リスクの高い高校生を「地域の中でもれなく救う」という発想を持っていただきたいという意見がありました。 ● 選考委員からは「通信制高校に通う若者の希望となる可能性がある」という期待が寄せら

【休眠預金等活用事業 2023 年度通常枠の根活動支援事業】

若年就労困難者のための包括的就労支援事業～就労までの選択肢の拡充と就労定着に向けた仕組みづくり～

	れています。本助成金を梯子に発展させたノウハウを「千葉モデル」として拡大していくことを望みます。
--	--------------------------------------------------

※助成額は実行団体よりご提出いただきました事業計画書・資金計画書に基づき算定しています。